上野遺跡　現地説明会資料

令和３年８月28日（土）

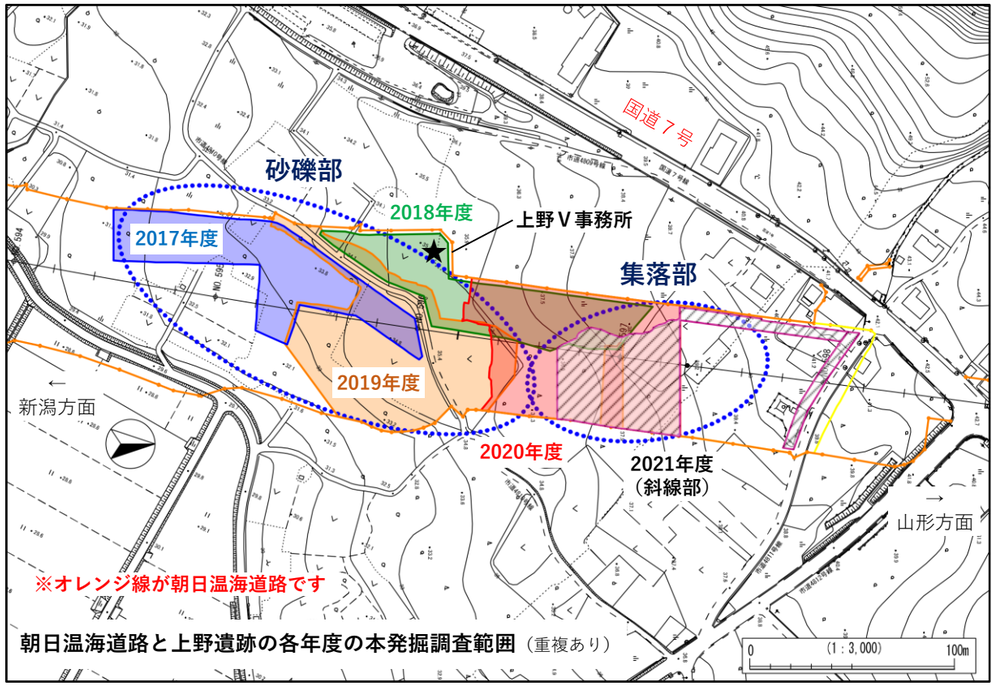
国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所

公益財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団

１　遺跡の概要

日本海沿岸東北自動車道の一部になる、国道７号朝日温海道路事業に伴う本発掘調査で、上野遺跡の調査は平成29（2017）年度から継続して実施しています。今年度は５回目の調査で、平面積約3,500 ㎡（昨年度未了部分含む）を対象に調査を開始しました。

遺跡は高根川右岸の西から東へ緩やかに下る丘陵裾部の扇状地上に位置します。**縄文時代後期前葉**が中心の集落（ムラ）の跡で、土器の型式では三十稲場式新段階から南三十稲場式古段階の比較的に短期間の集落と考えられます。遺跡全体は居住域や廃棄場のある**集落部**と、その南側に広がる**砂礫部**に大きく分かれます。砂礫部は集落部よりも一段低かったのですが、現在までにすべて埋没していました。そこに溜まった土からも多くの遺物が見つかりましたが、これは遺跡西側の丘陵の土砂が、集落部を巻き込みながら流れ込んだ結果と考えられます。今年度は遺跡の本体である居住域の調査を中心に進めているので、より具体的に当時の生活の姿がわかるものと考えています。



朝日温海道路と上野遺跡の各年度の本発掘調査範囲（重複あり）

３　調査の概要

これまでに見つかった遺構・遺物の量は非常に多く、ここではその一部を紹介します。

遺構はピット（柱穴など）・石囲炉（調理場や暖房）・土坑（貯蔵が目的の穴や墓穴など）・埋設土器（墓？）・配石（石を組んだまとまりで、墓やマツリの場？）・溝・焼土（焼けた土の集まり。地床炉？）・道・廃棄場（自然の谷（SR103）を利用したゴミ捨て場）などがあります。また、焼けた人骨が多く収められた土坑も注目されます。火葬（死後にあまり時間をおかずに遺体を焼くこと）が行われた可能性があり、火葬であれば全国でも古い例となります。

現在はⅢｂ層に伴う遺構を調査中です。調査区の東側寄りで、建物に伴う石囲炉・焼土（地床炉含む）・柱穴が多く見つかりました。Ⅲｂ層の頃の居住域の一部分で、現在その組合せを考えながら建物を復元しています。建物はその構造から竪穴建物、平地建物、敷石建物、掘立柱建物に分類することができます。竪穴建物は27F区で見つかった１棟だけですが、これはⅢｄ層の遺構と考えられています。平地建物の柱の並びは、竪穴建物と似ているので、建物の床面を地面に掘り込んでいるかどうかで判断します。掘り込みの有無を丁寧に調べた結果、大部分が平地建物と思われます。炉を中心に主柱が巡り、さらにその外側には主柱より規模が小さい柱が巡るものが多く認められます。同じ場所で何度か建て替えられているので、検討を繰り返しながら調査を進めています。掘立柱建物はまだ数棟ですが、平地建物よりも古い時期に建てられているものが多く、今後その調査に入っていきます。

敷石建物で明確なものは１棟だけですが、いくつかは既に解体された可能性があります。長方形（長さ約１ｍ）の炉を中心に石が敷かれ、入口と考えられる南側はさらに張り出して敷かれています。敷石の外側には幅約30cmの溝が巡り、ここに壁があったことがわかります。建物の規模は南北方向（溝の内側）が4.5ｍ前後で、平地建物とほぼ同じ大きさであることがわかりました。

遺物は廃棄場を中心に、多く見つかりました。土器には深鉢（鍋のようなもの）・浅鉢（皿のようなもの）・注口土器（液体用）・台付鉢・ミニチュア土器などがあり、注口土器が目立つのが特色です。土製品には土偶・耳飾・土錘（網のおもり）などがあります。石器は石鏃（弓矢の先）・石斧（木を切り、加工する道具）・石皿（すり鉢のようなもの）・磨石類（調理や加工の道具）などがあり、石製品では石棒・線刻礫（模様を入れた石）などがあります。また使用方法や目的が不明ですが、粘板岩を棒状・ヘラ状に加工した礫が毎年多く見つかっており、この遺跡の特徴となっています。

出土した石器・石製品

出土した土製品

２　基本土層

集落部（しゅうらくぶ）の**縄文時代後期前葉の層**は、大きく４つに区分できます。今年度の調査から層の名前を変更しました。（）内が昨年度になります。

上の方から**Ⅲａ層**（Y1層）、**Ⅲｂ層**（BK1層）、**Ⅲｃ層**（Y2層）、**Ⅲｄ層**（BK2層）としました。現在はⅢｂ層に伴う遺構を調査中で、上野遺跡の中心の時期と考えています。

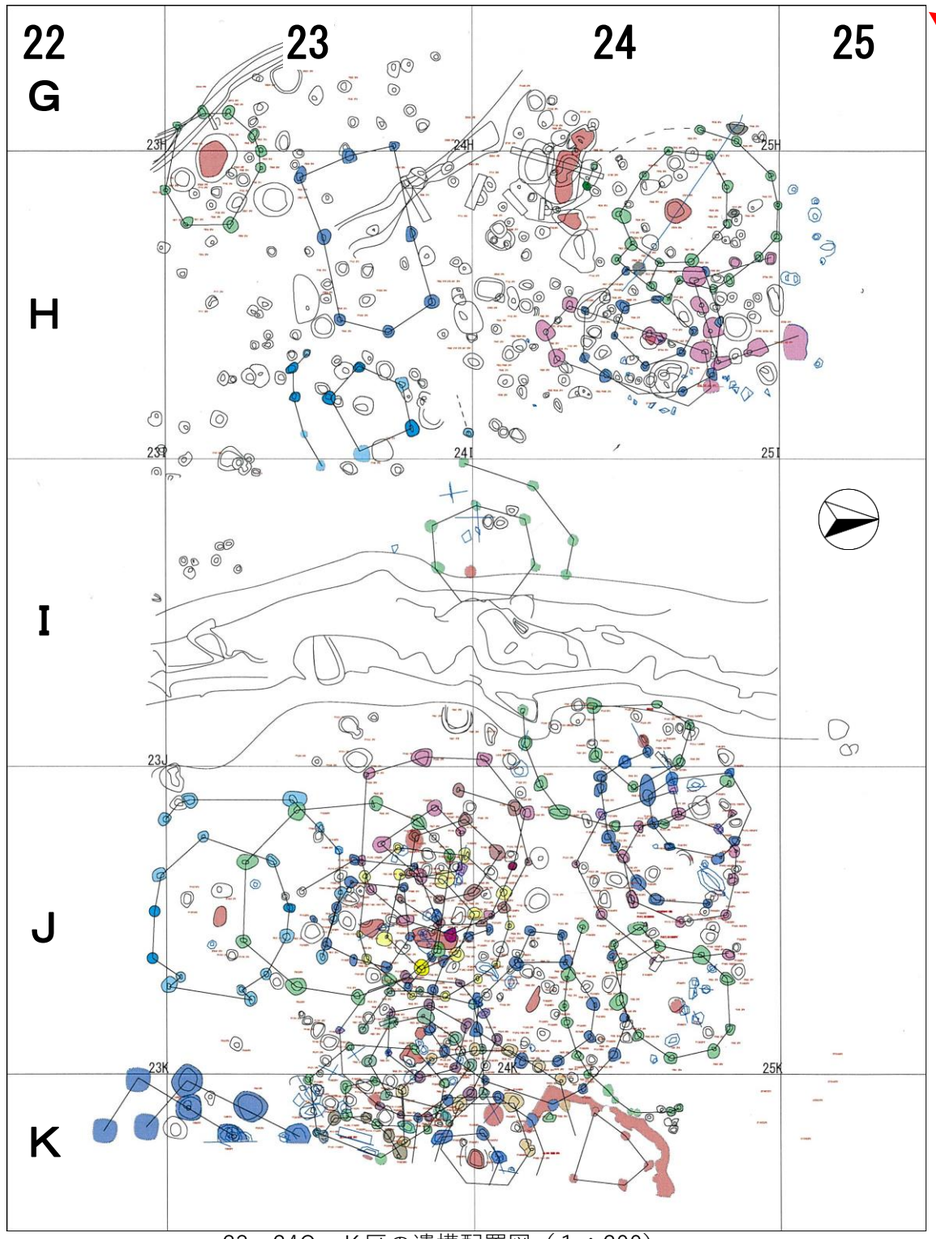
Ⅱ層：土砂流（砂礫）中心の層

①Ⅲａ層：黄色系のシルト層

②Ⅲｂ層：黒色系のシルト層で部分的に２層

③Ⅲｃ層：黄色系のシルト・砂礫の複数層

④Ⅲｄ層：黒色系のシルト層



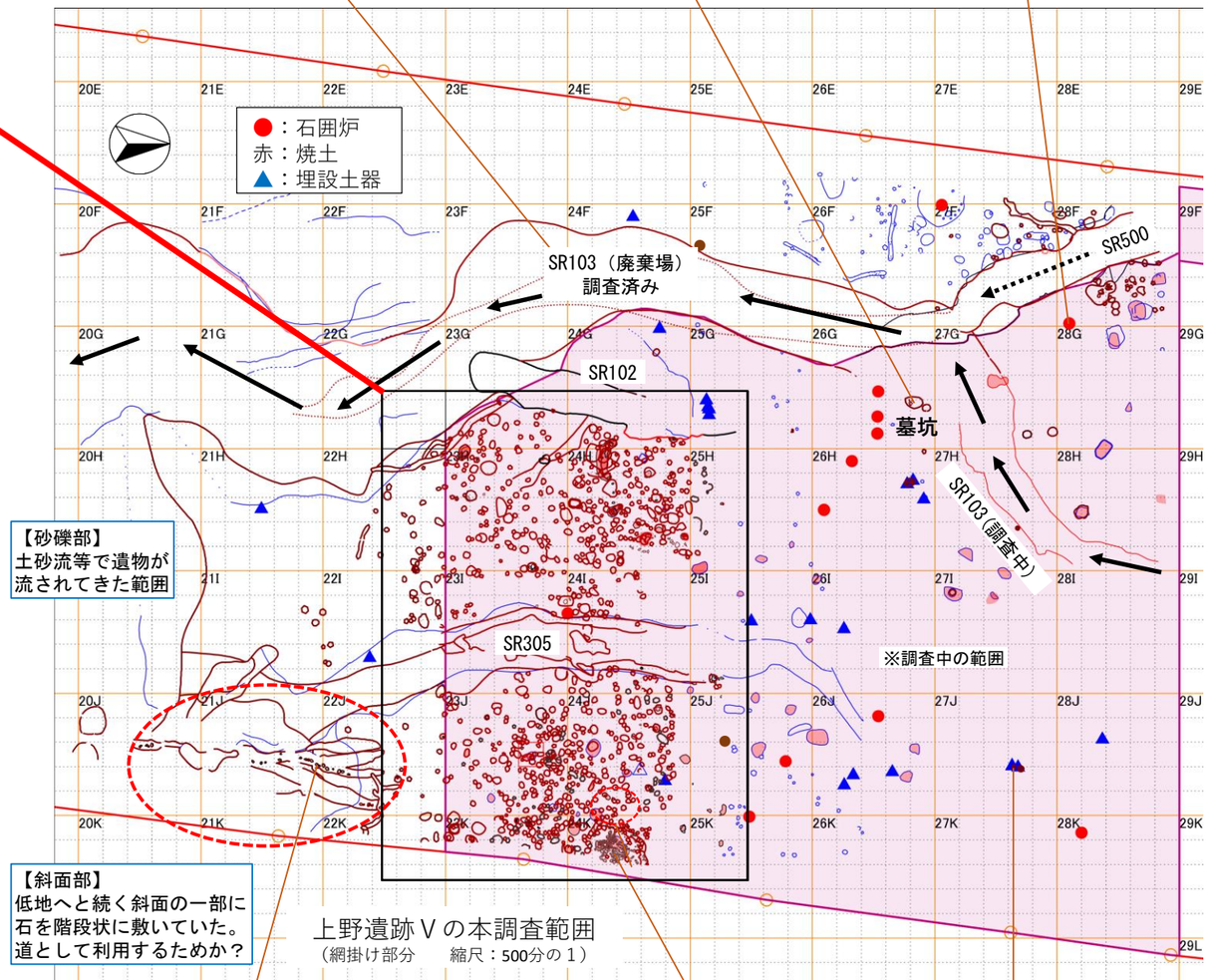
23・24G～Ｋ区の遺構配置図（１：200）

※7月30日現在での検討状況図のため、今後変更がある可能性があります。

SR103の底面の出土状況

焼人骨土坑　SK439

石囲炉312



溝　SD384～387

敷石建物　SS480

埋設土器SH329（右）・343（左）